

平成20年度関東ブロック会議開催される

男体山にも雪が付き、本格的な冬が始まった平成20年12月13日、宇都宮市の「ホテル ニューイタヤ」において、栃木県が本部理事担当県の最後の年となる平成20年度の関東ブロック会議を開催いたしました。

当日は、同窓会本部から、紫野同窓会長を来賓にお迎えし、全支部参加のもと、小野口栃木県支部長(昭和40年卒)の挨拶で開催しました。まず議長自ら平成20年度の本部同窓会理事会の報告を行い、同窓会の現状について説明を行いました。

次に各支部の活動状況について報告をいただきました。千葉県から大学祭で落花生の販売を行い、盛況であったとの報告があり、来年度我が栃木県でも参加を検討している旨報告しました。しかし、支部の運営については、各支部とも会員の確保、会員からの会費の納入及び総会への出席者の減少などが問題となっており、魅力ある支部運営について各支部とも苦慮していました。

その後、茨城県の田原支部長から、評議員会議にて関東ブロックの評議員の選出方法が不適切との指摘があった旨とその後の経緯について説明があり、再度、関東ブロックとしては、現在の輪番制での選出は問題が無く、今後も継続することを再確認しました。

さらに、各支部の課題である環境保健・衛生技術・環境政策各部会会員との連携の在り方と対応方法などについて泉群馬県支部長を中心に白熱した議論が行われました。

その後短い時間でしたが、紫野同窓会長から大学の近況について、本部、学校法人の状況、卒業生子女特別入学選抜や会費納入等について説明があり、今後も地方支部同窓会での協力の必要性である事を改めて認識しました。

その後の懇親会でもさらに各支部のお話をうかがうことができ、今後の支部運営の参考となり、会議とともに非常に有意義なものとなりました。

幹事県として、最後の年まで会議時間の設定が甘く、参加者の皆様にご迷惑をおかけしたと反省し、来年度幹事県となる山梨県支部へバトンタッチをしたいと思えます。

終わりに、麻布大学同窓会の今後益々発展することをお祈りいたしまして、平成20年度関東ブロック会議の報告といたします。（栃木県支部 事務局）

